

# 試験研究成果普及情報

部門	花植木	対象	普及
課題名：マット化可能な草本植物			
[要約]流通・施工に耐えるマット植物は、被覆率が80%以上で、剥離培地割合が5%以下、引張強度が10kgf以上、たわみ度が5cm以下の全ての条件を満たす必要があり、91植物がマット植物として生産可能である。			
キーワード(専門区分) (研究対象)緑化植物, 草本類 (フリーキーワード)マット植物、植物検索、品種選定、緑化植物、早期緑化			
実施機関名(主 査)農業総合研究センター生産技術部花き緑化研究室 (協力機関) (実施期間)1999年度～2002年度			

[目的及び背景]マット植物とは、「地上部の被覆率が80%以上で、根域が薄層化され、マット状になった緑化植物」と定義づけられる。早期緑化、雑草抑制、エロージョン防止等の効果があり、法面、屋上、家庭等での利用が期待できる。そこで、マット化可能な草本植物を検索し、マット植物生産に向く植物を選定する。

## [成果内容]

1. 第1表の( )でくくった9植物を除く91植物をマット化可能植物として選定した。
2. リシマキア等の発根が容易な植物は、マット植物育成トレイに直挿しが可能である。
3. 繁殖が容易なセダム等は、マット植物育成トレイにばらまきが可能である。
4. セル成型トレイで繁殖した苗を植え付けると、直挿しに比べ、欠株の割合が低くて生育が良好である。また、施設の有効利用が図れる。

## [留意事項]

1. マット植物育成トレイに直挿しの場合、欠株が生じ易いため、補植用の株が必要である。
2. 流通・施工を通してマット状態を維持するため、剥離培地割合が5%以下、引張強度が10kgf以上、たわみ度が5cm以下のものを出荷する。

[普及対象地域]県下全域

[行政上の措置]

[普及状況]海匝地域、印旛地域を主体に、県下で30名程度が生産を開始している。

[成果の概要]

第1表 供試植物のマット特性

供 試 植 物	繁殖方法	繁殖時期	栽培期間	被覆率%	地上部乾燥重 g	地下部乾燥重 g	崩壊率 %	引張強度 kgf	たわみ度 cm
アオスゲ	株	5	3	90	14.58	0.233	1.42	21.5	2.68
アガパンサス アフリカヌス	株	3	4	80	18.26	0.395	3.42	15.5	2.74
アジュガ レプタンス	ランナー	9	10	80	16.45	0.172	3.61	18.8	3.16
アルテミシア 'シルバ' フロケット'	挿	3	3	90	15.62	0.125	3.54	14.5	4.05
インギク	挿	10	12	85	18.6	0.237	2.67	26.8	2.26
イチハツ	株	10	8	80	15.32	0.196	3.62	17.6	3.15
エボルブルス	挿	6	3	100	19.57	0.141	2.55	12.6	2.89
エリゲロン カルピンスキアヌス	挿	8	3	95	25.28	0.373	1.05	41	1.52
エリゲロン スペシオサ	実	3	4	80	16.22	0.164	3.21	19.5	3.16
オウゴンマルバマンネングサ	挿	6	4	85	19.67	0.142	5.28	11.5	4.05
オキザリス アイアンクロス	球	10	7	80	11.3	0.124	3.31	10.4	3.69
オキザリス ブラジルエンシス	球	10	7	80	10.35	0.101	4.56	10.6	3.89
オキザリス マルティアナ	球	10	7	85	12.22	0.114	4.16	11.3	3.78
オレガノ	挿	6	4	90	19.68	0.266	2.14	30.5	2.2
ガウラ	実	9	10	90	18.63	0.184	2.64	22.5	3.26
(カキドオシ バリエガータ)	挿	9	10	80	10.24	0.112	5.29	9.3	5.54
ガザニア	ブ	3	4	80	13.6	0.127	4.02	11.5	3.62
カラミンサ ネベタ	挿	7	3	80	16.45	0.124	2.14	17.6	3.52
カレックス グラウカ	株	3	7	100	14.38	0.245	1.42	34.7	1.68
カレックス ブキャナニー	株	3	4	80	26.14	0.128	3.66	13.6	3.16
カンスゲ	株	3	5	90	19.26	0.288	2.31	24.5	2.18
ギボウシ実生	実	10	9	100	22.33	0.375	3.05	50<	1.59
キャットミント	挿	7	3	90	20.23	0.196	2.1	20.5	3.34
キランソウ	ランナー	6	12	100	15.63	0.184	2.95	18	3.15
ギンバイソウ	根伏	3	2	100	6.82	0.134	3.67	14.6	4.66
クリムソクローパー	実	10	7	85	16.84	0.194	2.85	16.5	3.16
コウライシバ	張	3	3	100	7.24	0.311	0.53	50<	1.02
ゴシキトウガラシ	実	3	5	80	16.62	0.204	2.82	20	2.84
サカサマンネングサ	挿	6	4	100	36.53	0.255	3.12	17	2.95
三尺バーベナ	ブ	3	6	80	14.35	0.164	2.12	15.7	3.34
シャスターデージー	実	9	11	80	15.3	0.148	3.24	17.1	3.42
シロタエギク	挿	10	7	90	38.26	0.288	1.15	34	2.25
スエヒロソウ 'ブルーファンフラワー'	挿	9	8	85	16.65	0.154	2.69	18	2.65
ステイパ 'エンゼル・ヘアー'	実	9	11	80	14.26	0.186	3.46	18.6	2.94
セイヨウキンミズヒキ	実	9	10	100	21.64	0.253	1.55	30.6	1.45
セキショウ 'マサムネ'	株	2	5	80	16.28	0.115	5.15	13.5	4.74
セダム アルブム 'コーラルカーベット'	株	3	4	90	18.6	0.141	3.88	10.5	3.6
センチピードグラス	株	4	5	90	10.25	0.312	0.82	50<	1.1
センニチコウ アルテナンテラ	挿	9	8	80	18	0.157	2.12	14.5	2.69
ダイアンサス デルトイデス	実	10	8	90	16.74	0.143	3.85	12.2	3.16
ダイアンサス 'ライオンロック'	挿	9	10	90	25.2	0.274	1.02	28.6	1.77
ノギク	挿	3	6	85	17.22	0.188	1.56	18.7	2.35
ノシバ	張	3	3	100	8.56	0.322	0.48	50<	0.88
ノシラン バリエガータ	株	3	6	95	19.88	0.284	4.14	14.8	3.77
タイトゴメ	ハラマキ	4	5	100	28.81	0.148	3.66	12.5	3.26
タマリユウ	株	2	8	95	25.59	0.188	2.74	28.5	2.69
ツルマンネングサ	挿	5	2	100	26.51	0.202	2.27	22.1	2.88
ディコンドラ レベンス (ドイツズラン)	実	10	10	90	13.64	0.252	2.76	19.6	2.64
トウテイラン	ブ	2	4	80	9.21	0.134	7.85	6.4	6.4
ドクダミ 'カメレオン'	株	6	3	80	24.32	0.223	2.45	31	2.73
(ニーレンベルギア レベンス)	株	3	6	80	17.66	0.164	4.41	19.2	4.02
(ハナニラ)	球	2	4	85	10.22	0.111	5.48	16.2	5.77
ハマスゲ	株	10	7	90	9.06	0.141	5.13	8.2	5.33
バーベナ テネラ	株	6	2	85	16.58	0.223	1.86	28.6	2.24
バーベナ リギダ	挿	6	5	80	18.56	0.148	4.05	15	4.14
バーベナ リギダ	ブ	3	6	80	12.16	0.223	1.88	18.6	3.05
ヒマラヤトラノオ	挿	8	9	85	15.27	0.152	3.31	23.5	4.15
ヒルザキツキミソウ	株	3	4	80	16.66	0.196	3.22	12.4	3.92
フィラ カネスケンス (ヒメイワダレンソウ)	挿	7	3	100	24.68	0.21	0.85	15.5	1.25
フィラ ノディフロラ 'S-リーフ'	挿	5	3	100	24.84	0.221	1.34	15.6	1.46
斑入りカンスゲ	株	3	7	80	16.22	0.218	2.18	22.5	2.55
斑入りオノマンネングサ	挿	8	5	95	34.06	0.215	3.57	16	3.42
斑入りセントオーガスチングラス	株	5	4	90	8.95	0.255	1.35	42.8	1.28
斑入りヤブラン	株	3	4	85	18.62	0.258	4.16	16.4	2.85
斑入りヨモギ	挿	7	12	80	13.46	0.122	3.94	14.5	2.92
斑入りヨメナ	挿	7	12	90	15.62	0.245	2.81	26.8	2.29
フェスツカ グラウカ	株	3	4	90	18.23	0.165	2.84	18.5	4.59
ブラティア 'ホワイトスター'	株	3	2	100	8.51	0.098	2.04	14.3	2.85
ブラティア 'ブルースター'	株	4	1	100	12.35	0.114	2.16	13.8	2.88
ヘメロカリス ステラデオロ	株	3	14	100	29.54	0.316	1.88	22.5	2.55
ヘリクリサム イタリアム	挿	10	7	95	17.88	0.178	1.85	12	3.62
ヘリクリサム シルバー	挿	8	2	85	18.65	0.166	2.64	23.5	2.63

#### 第1表脚注

\* :繁殖方法の挿はマット植物育成トレイに直挿し、プはセル成型トレイ苗を定植、実は直播、ランナーは匍匐茎に着いた子苗を定植、バラマキは茎葉を裁断し、培地上に散播、株は株分け、球は球根を定植した。いずれも25cm角のトレイに25本(株)植え付けた。播種量は植物に応じて適量とした。

\*\* :被覆率は目視、地上部乾燥重は25cm四方トレイ内の株の乾燥重、根の乾燥重は径2cmのコルクボウラーで採取した培地内(約12.56cm<sup>3</sup>)の根の全乾燥重、剥離培地割合は1mの高さから3回落下させ、剥離した培地の総重量に占める割合、引張強度はマットを左右に引き分け、切断される点の最大荷重、たわみ度はマットの中心線を支点とし、垂れた長さとした。

\*\*\* :太字で示したデータは、マット化基準の範囲を超えた部分を示す。

[発表及び関連文献]日本緑化工学会誌第27巻第2号、393～398(2001)